



通信

HP 学校だより
R5.11.1
NO.26
文責 伊藤美佳



自分の役に誇りをもって

11月11日（土）の学芸会に向けて、各学年の練習に熱が入ってきました。昨年度実施した「とよさかつ子 Day」は、コロナ禍ということで、常に窓を開けて換気をする、なるべく対面をさける等々の対策をしての学芸会でした。今年度は、そういったことが緩和され、少しずつ以前に近い形での学芸会をめざしています。

体育館練習に行く子どもたちと話したとき、「ナレーターをやるよ。」「村人の役なんだ。」「やりたいと思っていた役になれた！」と自分の役を誇らしげに教えてくれました。そんな子どもたちの姿を見ていると「一人一人の役」を見る側も大切にしなければならないと感じます。つつい主役に目が行きがちですが、それぞれの役を一人一人がやりきってこそ「劇」です。誰が欠けても良いものにはなりません。「一人一人の役」をみんなが尊重し、一人一人が自分の役に誇りをもって、役になりきる。そんな経験をする事ができたら、子どもたちは大きく成長できると信じています。

学芸会の当日、多くの方々に見ていただき、子どもたちが創り上げる世界をお楽しみいただくとともに、頑張りを認めていただければうれしいです。

役割を与えられると…

10月19日（木）に行った就学時健診では、以前のように5年生が就学前の子どもたちを健診場所へ連れて行ってくれました。なぜ5年生かという、来年度6年生になったときに入学してくる子たちとの顔合わせも兼ねているからです。

コロナ禍で途切れてしまったことを再開することは、大変な労力がいらいます。しかし、5年生は「来年度6年生として関わる1年生の子たちのために」という言葉に反応し、対応してくれました。その姿は頼もしく、次年度がとても楽しみになりました。終わったときに、就学時健診でかかわった子たちが入学してくることを「楽しみ！」と言っていた5年生の子どもたちでした。

責任ある役割を与えられることで、子どもたちが成長できたのだと確信しています。また、コロナ禍では、なかなかできなかった人と人との交流。子どもたちの成長には欠かせないものと言えそうです。

働くとは

先月、教育実習生が3年3組、6年1組に配属され、教員となるための勉強をしてきました。3週間の中に、多くの行事や授業研究と忙しかったと思いますが、「教員となるために、先生方そして子どもたちから沢山学ぶことができました。」と嬉しい感想を言ってくれました。

また、今週は北部中学校2年生の4名が職場体験学習として、豊坂小学校に来ています。3日間と短い期間ですが、1日目から授業のお手伝いをしたり、校内の環境整備をしたりと頑張っています。将来、教員になりたいという夢も語ってくれました。キャリア学習の一助となればうれしいです。